

各部会の活動の振り返り

情報発信部会

- ・語り継ぐべき経験・教訓の整理
- ・幅広い層に向けた強力な情報発信の仕組の構築

<方向性>
情報発信のプラットフォームを整備

<主な議論>
情報発信ツール（ホームページ）について

- <論点>
- ①どのように見せるか？
 - ②どう見てもらうか？
 - ③何を見せる（発信する）か？
 - ④ドメインをどこに置くか？
（県サーバーなのか、独立サーバーなのか）
 - ⑤立ち上げ後の運営をどうするか？

<現状>
・部会長により試作ホームページ作成

<今年度の動き>

- ・試作ホームページの内容確認
- ・更新を誰が行うか等、運営のあり方を議論
- ・他部会との情報共有・意見交換

環境整備部会

- ・様々な手法・主体による伝承活動が実践できる環境づくり
- ・防災・減災推進の機運醸成

<方向性>
（１）学習プログラム作成
（２）人材育成
⇒R6は（１）を中心に進めていく

- <主な議論>
- ①リスト作成（フォーマット）
伝承団体の情報を集約したリストを作成
リストの記載内容を共通化・様式化する
 - ②学校の現状・ニーズ把握について
教員が動きやすい環境、児童生徒を受け入れやすい環境を整備する
→現状（ニーズ・課題）を把握し、
学習プログラムに反映させる

<現状>

- ①リストの項目整理・作成
- ②学校への調査の検討 等

<今年度の動き>
・①②を継続議論

連携促進部会

- ・持続的な震災伝承に向けた産学官民相互（会員間の情報共有）が、それぞれの強みを活かして連携する取組の創造

<方向性>
（短期目標）会員の活動紹介様式の
取りまとめ・共有
（中長期目標）会員間の連携事例の蓄積
モデルコースの作成

- <主な議論>
- 会員の活動紹介様式について
企業団体に特化した情報登録フォーム、
活動内容登録フォームについて意見交換
 - ※一例として、BCポータルを試用

<現状>

- ・会員の活動紹介様式の検討・意見交換
- ・会員間の連携事例の実践
岩沼市内の中学生をモニターとして、
防災キャンプの企画・実施

<今年度の動き>

- ・活動紹介様式・ツールの継続検討
- ・防災キャンプの企画・実施の継続

各部会の連携の手法（ツアーを例にして）

